



「よどばし」は、3ヶ月に1回発行します。
地域のボランティア情報をお届けします。

題字は、西新宿にお住まいの
ボランティア佐藤さんの切り絵です。



新宿区社会福祉協議会では、区内の学校・幼稚園が行う福祉体験学習への企画協力や講師紹介を行っています。講師として、障害を持つ地域の方々や福祉関係団体、社会貢献活動を行っている企業などを、社協がおつなぎしています。

今号の「よどばし」では、角筈地区の団体にご講師をお願いし、柏木地区で行った福祉体験学習の取り組みをご紹介します。

ひまわりホーム（角筈地区）

ひまわりホームは、重度の身体障害をお持ちの方々が日常生活を送るグループホームです。日頃から地域との交流を心がけていることもあり、淀橋第四幼稚園の福祉体験学習の講師をお願いすることになりました。体験学習当日は、白線画家の猫八先生の指導のもと段ボールを使った共同制作で園児と交流を図りました。



地域社会と
つながる



多様性を理解する 福祉教育・福祉体験学習

淀橋第四幼稚園（柏木地区）

ひまわりホーム入居者には会話が不自由な方もいましたが、園児たちは入居者の方々の言葉を理解しようと熱心に耳を傾けていました。段ボールに色を塗り始めると、自然と交流が生まれ、お互いに手や足に絵の具を塗りあう場面も！皆で塗った段ボールはつなぎ合わせると大きな魚の形になり、今も幼稚園の壁を泳いでいます。このような交流を通して、園児たちは、地域には色々な方がいて自分たちと同じように生活していることを体感しました。

入居者の方々と園児たちは、公園や道で出会ったら声をかけてね、と約束しあい、さよならをしました。

主体性を高める



柏木手編みの会

出来上がった作品の売り上げを、福祉施設等に寄付する活動を行っています。

毛糸
浴衣
募集中



ご不要の毛糸・浴衣がございましたら
右記までご連絡ください

淀橋ボランティア・地域活動サポートコーナー

[場所]新宿区北新宿2-3-7 柏木特別出張所内
[開所時間]月～金曜日 午前10時～午後5時
[TEL/FAX]03-3363-3723

おちあいだより

題字は、落合地区在住
の三輪良子さんの
和紙貼り絵です。



「おちあいだより」は、3ヶ月に1回発行します。地域のボランティア活動情報をお届けします。

新宿区社会福祉協議会では、区内の学校・幼稚園が行う福祉体験学習への企画協力や講師紹介を行っています。講師として、障害を持つ地域の方々や福祉関係団体、社会貢献活動を行っている企業などを、社協がおつなぎしています。

今号の「おちあいだより」では、落合地区で行った福祉体験学習の取り組みをご紹介します。

～ 落合第三幼稚園 聴覚障がい者との交流 ～

そら組（5歳児）を対象に、「言葉以外にもコミュニケーションの方法があることを知る」という目的で、手話を使った福祉教育の取り組みを行いました。講師は、新宿区聴覚障害者協会の秋山さんと新宿区手話サークルの坂本さんをお願いしました。

「こんにちは」「さようなら」といった挨拶を手話で習ったり、手話で「何の動物か？」を当てるジェスチャーゲームを楽しみました。園児からは「カメレオンってどうやるの？」など、予想外の質問も多く出ました。



秋山さん

また、そら組が日頃よく歌っている「ともだちになるために」を手話をしながら歌いました。最後に、秋山さんが物語を手話で演じ、何のお話なのか集中して見ている園児の姿がありました。桃太郎が桃から出てくる場面で、園児たちが一斉に「桃太郎！」と叫びました。

後日、担任の本常先生からは「『ともだちになるために』の歌を歌う時は、自然と手話が出来るようになり、小さいクラスの友達にも率先して手話を教えてあげていました。」と報告がありました。

～ 落合第二小学校 みんなに住みよい町「落合」～

4年生を対象に、3回の福祉体験学習を行いました。みんなに住みよい町「落合」をテーマに、車椅子体験・アイマスク体験・手話体験をしました。

全ての学習を終えた4年生は、3年生・先生・保護者・体験学習の講師の方々に向けて、まとめの発表会を行いました。生徒たちから、「地域には、障がい者も、お年寄りも、赤ちゃんもいる。落合が、みんなに住みよい町になるように、自分のできることをしていきたい。」という発表がありました。



4年生発表

福祉体験学習は、学校・幼稚園以外でもお手伝いいたします。ご興味のある方は、お気軽にお問合せ下さい。

落合ボランティア・地域活動サポートコーナー

[場 所] 新宿区下落合4-6-7 落合第一特別出張所内

[開所時間] 月～金曜日 午前10時～午後5時

[TEL / FAX] 03-5996-9363